

2020(令和2年度)

松本市 教育要覧



「大きいものがとれたよ」

松本市教育委員会

Ⅱ 博物館事業の推進

1 概 要

本格的な生涯学習時代を迎え、博物館がその拠点としての重要性をますます高めるなかで、松本市立博物館は平成27年に開館110周年を迎えました。その設立は明治39年(1906)にさかのぼり、100年余にわたり「学都松本」の屋台骨を支えてきました。昭和27年(1952)に県内で初めて博物館法の登録を受け、現在は松本市域を対象とした資料を収集し、歴史・民俗に関連した資料を中心に展示しています。

博物館では、松本市域全体を博物館と考える「松本まるごと博物館構想」のもと、基幹博物館建設整備と、本館と15分館が下記の事業を実施します。

- (1) 市域の歴史・民俗・自然・産業等に関する市民の学習意欲に応えるため、15館が各施設の特徴を活かして、様々な資料の収集・保管、調査研究をし、その成果を活用していきます。
- (2) 市民の生涯学習活動を支援するため、展示(常設展示・特別展示)、刊行物の編集・発行、講座・講演会・体験学習会等を開催します。
- (3) 「地域づくり」「ひとづくり」に資するための様々な博物館事業を市民協働により実施します。

2 沿革

明治39年	9月21日	松本尋常高等小学校内に明治三十七、八年戦役記念館開館。のち松本紀(記念館と改称。開館時の資料は軍事関係1,308点、風俗関係315点、博物標本2,102点、その他1,699点、図書19,046冊
明治41年	1月28日	東筑摩郡教育品研究所廃止により所蔵資料が移管
昭和6年	6月1日	松本市の管理に移管
昭和12年	9月	松本城二の丸に移転。ロックガーデンを設置し、山岳資料を充実
昭和13年	9月17日	松本記念館として有料開館、観覧料10銭(松本城10銭、共通15銭)
昭和20年	5月22日	この日をもって閉館し、収蔵資料の疎開開始
昭和22年	1月28日	松本史談会「博物館設置二関スル意見書」を市議会に提出。4月1日に松本記念館から松本博物館と改称
昭和23年	2月11日	地蔵清水に移転し松本市立博物館と改称。山岳・民俗・考古・歴史・教育の5部門を常設展示
	4月23日	松本市立博物館管理条例を制定、松本城の管理を職務に編入
昭和27年	7月21日	県下初の博物館法による登録博物館に登録。11月再び二の丸に移転
昭和29年	4月1日	中山村との合併にともない中山考古館(昭和6年開館)を分館に位置付け
昭和30年	3月29日	分館として松本城記念館を設置
	4月22日	七夕人形コレクション45点が重要民俗資料(昭和50年文化財保護法の改正により「重要有形民俗文化財」と改称。以下同じ)に指定
	11月15日	松本城を分館とし、城郭係を新設
昭和33年	4月1日	分館中山考古館の建物を新築
	12月24日	松本城管理事務所設置(城郭係廃止)、松本城管理事務が分離
昭和34年	5月6日	農耕用具コレクション79点、民間信仰資料コレクション293点が重要民俗資料
	12月18日	孔雀文磬(仏具)1面が国の重要文化財に指定

昭和36年	3月 23日	市立開智小学校本館が重要文化財に指定
	3月 31日	重要民俗資料収蔵庫を新築
昭和37年	11月 3日	松本民芸館開館
昭和41年	4月 1日	重要文化財旧開智学校校舎が附属施設（現分館、以下同じ）に位置付け 財団法人日本民俗資料館が設立。8月に博物館法による登録。以後松本市立 博物館と日本民俗資料館の両名併記になる
昭和43年	4月 20日	日本民俗資料館開館
昭和49年	11月 1日	本田コレクション341点（古時計及び関係資料）を受贈、重要民俗資料収 蔵庫を時計博物館として開館
昭和50年	4月 30日	アルプス山岳館開館
昭和52年	7月 1日	旧制松本高等学校記念館開館
昭和55年	6月 1日	時計博物館廃止。コレクションを日本民俗資料館2階に移管
昭和56年	10月 1日	松本城との共通観覧券を発行
昭和58年	10月 1日	財団法人松本市教育文化振興財団設立にともない財団法人日本民俗資料館 が解散され、新財団へ移行
昭和59年	8月 1日	館ニュース「あなたと博物館」創刊
昭和61年	3月 31日	分館の中山考古館を廃止
	4月 1日	松本市立考古博物館を創設、附属施設に位置付け（8月2日開館）
平成元年	8月 4日	松本市はかり資料館開館
平成 3年	12月 1日	旧司祭館開館、市立博物館の附属施設に位置付け
平成 4年	4月 1日	松本民芸館、松本市はかり資料館を市立博物館の附属施設に位置付け
平成 5年	4月 1日	窪田空穂記念館を創設し、市立博物館の附属施設に位置付け（6月5日開館）
	7月 10日	旧制高等学校記念館開館
平成 6年	3月 31日	松本市旧司祭館が市の重要文化財に指定
平成 8年	12月 10日	馬場家住宅、国の重要文化財に指定
平成 9年	4月 8日	重要文化財馬場家住宅を博物館として開館、附属施設に位置付け
平成11年	9月 21日	この日を「松本市博物館の日」に制定し、以後関連行事開催
平成12年	6月	松本まると博物館構想策定
平成14年	4月 1日	松本市歴史の里開館、附属施設に位置付け
	9月 1日	松本市時計博物館開館、附属施設に位置付け
	19日	胡桃沢コレクション受贈（平成14年2月）により「子規忌」開催。以後毎 年開催
平成15年	4月 25日	松本民芸館がリニューアルオープン
平成16年	4月 1日	松本まると博物館友の会が発足
	17日	松本市立考古博物館がリニューアルオープン
平成17年	3月 28日	旧司祭館が県宝に指定
	4月 1日	日本民俗資料館が市に寄贈され松本市立博物館に名称統一 合併により四賀化石館・安曇資料館・奈川歴史民俗資料館・奈川自然学習館・ 梓川アカデミア館が附属施設に位置付け
平成18年	4月 1日	旧制高等学校記念館を附属施設に位置付け
	9月 21日	市立博物館が開館100周年
平成19年	4月 28日	松本市歴史の里がリニューアルオープン
	5月 3日	山と自然博物館開館、附属施設に位置付け
平成20年	3月	松本市基幹博物館基本構想策定

	4月 1日	奈川歴史民俗資料館を博物館施設としての用途廃止 梓川アカデミア館を美術館に所管替え
平成21年	6月	松本市基幹博物館基本計画策定
	4月 1日	奈川自然学習館を博物館施設としての用途廃止
	5月 2日	松本市重要文化財高橋家住宅を博物館施設として開館、附属施設に位置付け
	12月 21日	工女宿宝来屋、市の重要文化財に指定
平成22年	4月 29日	松本市はかり資料館の改修工事終了、リニューアルオープン
平成23年	2月 11日	松本市はかり資料館内に、旧三松屋蔵座敷を移築し、オープン
平成24年	4月 1日	松本市立博物館条例改正、附属施設を分館に位置づけ
	10月 26日	松本市博物館協議会設置
平成25年	3月 20日	国立大学法人名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターとの文化・学術活動と地域貢献に関する覚書締結
	4月 27日	旧制高等学校記念館がリニューアルオープン
平成28年	6月 13日	松本城大手門駐車場敷地を基幹博物館の建設予定地とすることを決定
平成29年	3月	松本市基幹博物館施設構想及び建設計画策定
	11月 28日	旧松本区裁判所庁舎、国の重要文化財に指定
平成30年	2月	松本市基幹博物館の建設予定地拡張を決定
平成31年	3月	重要文化財旧開智学校校舎の耐震診断が完了
	4月	松本市基幹博物館整備事業用地の埋蔵文化財発掘調査を開始
	4月 27日	旧山辺学校校舎がリニューアルオープン、分館に位置付け
令和元年	5月	国の文化審議会が旧開智学校校舎の国宝指定について答申する
	9月 10日	旧昭和興業製糸場、国の登録有形文化財に登録
	30日	旧開智学校校舎が国宝に指定
令和 2年	3月 6日	松本市基幹博物館新築工事着工

3 重点施策

(1) 基幹博物館整備事業（事業費 8 2 2, 1 4 0 千円）

ア 昭和 4 2 年竣工の現施設は、老朽化・狭隘化が進み、情報化やバリアフリー化などへの対応も不十分なため、松本市基幹博物館施設構想及び建設計画に基づき整備を進めます。

イ 本年度は、令和 4 年 5 月の竣工に向けて建築工事を進めるとともに、令和 2 年 1 0 月の展示製作業務の着手に向けて、発注作業を進めます。

ウ 開館後の運営方法について、直営（学芸部門）・指定管理者（管理運営業務）混合による運営スキームを基に検討を進めます。

(2) 歴史文化基本構想の実現（事業費 2 0 0 千円）

ア 市民団体や地域との連携事業を推進し、人づくり・まちづくりに寄与します。

イ 市内の博物館の連携に取り組みます。

ウ 県外博物館等との連携に取り組みます。

(3) 市民学芸員との協働事業の推進（0 千円）

平成 2 4 年度に発足した市民学芸員の会を平成 3 0 年度に再発足しました。市民学芸員の会と連携した各種事業を本館・分館で実施します。

(4) 博物館特別展などの開催（3 6, 0 2 0 千円）

本館で特別展開催のほか、分館では各施設の特徴に応じた行事を随時開催します。

4 事業の内容

博物館法第 2 条（定義）及び第 3 条（博物館の事業）、松本まると博物館構想等に基づき、

次の事業を行います。

- (1) 松本市全域を屋根のない博物館にとらえる「松本まるごと博物館構想」のもと博物館施設（本館・15分館）の管理運営と基幹博物館整備等に関すること。
- (2) 松本市域を含む旧松本藩領の地域の成り立ち、文化・環境などを学習するうえで必要な、博物館資料の収集・保管・調査研究及び展示（常設展・企画展・特別展）に関すること。
- (3) 「学都松本」の創造に向けて、市民をはじめとする利用者の学習支援に関すること。
 - ア 「復活 話をきく会」などのほか、各種講座・講演会・体験学習講座・バス見学会の実施
 - イ 特別展解説図録・館ニュース「あなたと博物館」ほか刊行物の編集、発行
 - ウ 小・中学生親子、転入世帯、松本地域4大学・松本市内専門学校新入生を対象とした博物館パスポートの発行と利用喚起
 - エ 教育機関・各種団体への学習会講師の派遣
- (4) 児童・生徒・学生の学習支援に関すること。
 - ア 博物館実習及び職場体験学習の学生・生徒の受入と指導
 - イ 学びのきっかけづくりとなるアウトリーチ活動の実施
- (5) 市民団体・地域との協働、連携に関すること。
 - ア 博物館ボランティア「エムの会」、友の会ボランティア部会と協働で行う年中行事食提供サービスの実施や調査活動、講座の実施
 - イ 市民学芸員の会と協働で行う城下町の文化遺産めぐり「まる博 de ウォーキング」事業の実施
 - ウ 中心市街地商店街・町会と連携した七夕人形のまちなか展示「まつもとの七夕」の実施
- (6) 博物館協議会に関すること。

5 令和元年度の活動状況

(1) 資料受入状況 (元年度)

(単位：点)

種 別	総 記	考 古	歴 史	民 俗	美 術	その他	合 計
購 入	0	0	1	0	0	0	1
寄 贈	97	7	905	355	0	46	1,410
製 作	0	0	0	0	0	0	0
採 集	0	0	0	0	0	0	0
移 管	0	0	0	0	0	0	0
合 計	97	7	906	355	0	46	1,411
総 数	9,310	23,155	24,520	39,065	5,557	24,078	125,685

(2) 特別展開催状況

- ア 工芸の五月参加企画 丸山太郎生誕110年記念
企画展「刺し子と手仕事の日本ー丸山太郎の民芸を旅する」(松本民芸館)
平成31年3月12日(火)～令和元年6月16日(日)
- イ 時の記念日企画展「わが家のお宝時計展V」(松本市時計博物館)
令和元年5月18日(土)～6月16日(日)
- ウ 学都松本ミュージアムめぐり2019連携展
「教育からみる開智学校と山辺学校、松本高等学校」(国宝旧開智学校校舎)
令和元年6月29日(土)～8月25日(日)
- エ 生誕150周年記念企画展「『木下尚江』という生き方」(松本市歴史の里)
令和元年7月27日(土)～9月16日(祝・月)
- オ 学都松本ミュージアムめぐり2019連携展
「松本高等学校開校100年記念展」(旧制高等学校記念館)
令和元年8月3日(土)～12月22日(日)

- カ 特別展「菅江真澄と民俗学」(松本市立博物館)
令和元年9月7日(土)～11月24日(日)
- キ 企画展「明治初めの旅事業～道中日記録を手がかりに～」(重要文化財馬場家住宅)
令和元年9月14日(土)～10月27日(日)
- ク 企画展「枯れざる生命 ～空穂と万葉集～」(窪田空穂記念館)
令和元年9月14日(土)～11月24日(日)
- ケ 京都市学校歴史博物館連携特別展
「学校資料を伝えて、使って－教育資料のこれから」(国宝旧開智学校校舎)
令和元年10月26日(土)～12月8日(日)
- コ 丸山太郎生誕110年記念
企画展「丸山太郎の祈りと心 その美しさをひもとく」(松本民芸館)
令和元年12月10日(火)～令和2年3月15日(日)
- サ 企画展「中町今昔物語展 享保9年の中町の家並み絵図」(はかり資料館)
令和2年1月11日(土)～2月16日(日)

6 松本市立博物館(本館)

(1) 施設の概要

学都松本へ 松本は屋根のない博物館!松本の歩みと文化を知る。松本の今にふれ、未来を思う。 ——まると松本を知る旅のスタート地点です。			
位 置	松本市丸の内4番1号	電 話	32-0133
構 造	鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階 塔屋付	延床面積	3,593.25 m ²
開 館	昭和43年4月20日	障害者用設備	スロープ、身障者用トイレ

(2) 部門別面積

(単位: m²)

部 門	総 面 積	比 率	内 訳
展 示	1,400.0	40.96%	地下展示室 339.8 1階展示室 507.2 2階展示室 553.0
収 蔵	298.5	8.73%	地階収蔵庫 118.1 1階収蔵庫 49.6 2階収蔵庫 47.0 地階倉庫(旧燻蒸室) 14.4 地階倉庫(旧暗室) 9.0 事務室下倉庫 60.4
学習支援	299.5	8.76%	講堂 161.3 研究図書室 138.2
事 務	128.2	3.75%	館長室 29.8 事務室 46.1 技師室 13.5 受付・売店 38.8
管 理	225.2	6.59%	機械室 170.9 電気室 34.5 塔屋 19.8
倉 庫	185.4	5.42%	荷解室 54.4 書庫 16.5 その他倉庫 114.5
そ の 他	881.5	25.79%	休憩室 更衣室 トイレ 廊下 階段 エレベーター 他
本館合計	3,418.3	100.00%	

(3) 重要有形民俗文化財収蔵庫

収 蔵	153.00	87.5%	
そ の 他	21.95	12.5%	機械室 風除室
別館合計	174.95	100.0%	

表紙の絵画

「大きいものがとれたよ」

今井小学校 1年 田中 栞菜さん（令和元年度当時）

文化・観光交流都市協定を締結している金沢市との交流の一環として、両市の児童生徒の絵画を交換展示しています。

表紙の絵画は、令和元年度の絵画交流展に出展されたものです。

松本市教育要覧

（令和2年度）

令和2年7月発行

編集 松本市教育委員会

発行 松本市教育委員会

松本市大手3丁目8番13号
